

「学際」の何が問題かって、そもそもどんなの無いって事

① 学際, 総合知, この学問のことやら

こんな言葉をとつけた用にありたくなる時点でスタートからズレてる

要素環境を否定しているおでそに集ってる。
今、必要なのは全体と全体のまま感受する目線

そもそも学際研究って何なの？

- 何かに融合はない分野だと何かがない！
- 我々の関心は
- 分野を区別しないこと
- 分野2の分野を入口

→ 京大 学際研究のイメージ調査

参考: 学際研究イメージ調査

京大から始める
研究者の歩きかた
Life as a Scholar

宮野公樹 准教授



参考: 学際についてのまとめ

② そもそも個人でなければ 大事な営み。しかし、現状の やり方は、あまりに物的すぎる

参考: アステイオン 2021.
10月号「超えるのはこれだ」
～学問の再契約～

アステイオン
ASTEION

094
2021.10月号
定価 1000円(税別)

WEB 定価
WEB EDITIONS

③ 結局、研究っていうか 学問やろうぜ、って話

(自分の内側に 自分を見つめるもう一つの目)

問った、疑った、自分自身す

物知思考、研究思考、学問思考。
雑感。

	物知	研究	学問
目的	知識の獲得	未知の発見	真理の探求
方法	実験・観察	仮説検証	論理的推論
対象	自然現象	社会現象	抽象概念
評価	再現性	新規性	普遍性

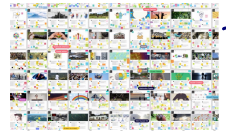
参考: 2019 アゲイ

「専門」を疑え

- T型? Π型? について
- 我々研究者の間にはその分類がど
でしてはたして
- 分野を超え己の
興味関心と磨き合わせる

「論文」を疑え

分野の多作法とか、便利だとか
害にそびえる。



京大
100人論文



上田隆、分野を問わない学術誌

「自分」を疑え

研究者としての計画、始動。